

2023年度 神戸ベルエベル美容専門学校
トータルビューティ科エステティシャンコース カリキュラム

科目		1年次	2年次	1年2年計	実務経験者が 行う授業
エステ	エステ理論	140	79	219	○
	アロマ理論	0	34	34	○
	接客販売心理学	34	0	34	×
	フェイシャル	165	192	357	○
	ボディ	176	191	367	○
	アロマ実技	54	0	54	○
	脱毛	6	9	15	○
	ヘッドマッサージ	15	0	15	○
	カウンセリング	25	12	37	×
	就職	74	3	77	×
	計	689	520	1132	-
実践	特別授業	5	4	9	×
	サロン	2	292	294	×
※コース選択 (メイク)	メイク理論	30	12	42	×
	メイク技術	132	86	218	×
	サロン	0	40	40	×
	計	162	138	300	-
※コース選択 (ネイル)	ネイル理論	16	6	22	×
	ケアカラー	112	0	112	×
	ジェル	34	92	126	×
	サロン	0	40	40	×
	計	162	138	300	-
選択 課目	HR	240	230	470	×
	マナー	60	10	70	×
	研修	30	0	30	×
合計		1188	1194	2382	-

※コース選択はメイク・ネイルのどちらかを選択。

神戸ベルエベル美容専門学校
トータルビューティ科エステティシャンコース シラバス

基本情報			
講義名	エステ(エステ理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	140	79	219

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	エステティックに必要な基礎的な知識・理論を学ぶ。エステの歴史や皮膚科学、栄養学、化粧品学、救急法、カウンセリング技術、サロンマネジメント等を学び技術や接客において実践的に活かせる知識を得られる授業を実施する。
授業の到達目標	エステティックの知識・理論を理解し、それをエステ技術や接客、サロンマネジメントにまで活かせるレベルに到達することを目標とする。 また、検定の筆記試験において合格レベルの知識の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
概要	1	授業説明、検定の概要
エステティック概論	4	エステティックとは、各国・日本のエステティック、セラピーの起源と定義
セルフ、ホームケア	2	セルフケア・ホームケアについて(ボディ、フェイシャル)
ボディ実技理論	5	ボディケアの組み立て、基本
フェイシャル実技理論	5	フェイシャルケアの組み立て、フェイシャルケア後のカウンセリング
皮膚科学	15	皮膚の構造、皮膚の生理機能、美しい肌のために肌の老化とケア、トラブル肌と皮膚疾患
解剖生理学	16	人体のあらまし、成り立ち、細胞・組織・器官、免疫骨格系、筋系、神経系、感覚器系、消化器系、呼吸器系、循環器系、血液内分泌系、泌尿器系、生殖器系
心身生理学	6	脳神経の構造と働き、ホメオスタシス、ストレス、心と肥満の関り、スキントッチの効果
運動生理学	5	運動の必要性、筋肉・呼吸器・循環器と運動、代謝と運動、運動処方、運動の実際
化粧品学	9	化粧品の定義と役割基礎化粧品、メイクアップ化粧品ボディケア化粧品 芳香化粧品、化粧品の原料
栄養学	10	栄養学の基礎知識、健康と栄養、食品パワーの新しい可能性とその利用
カウンセリング	5	エステティックカウンセリングの基本、実施
サロンマネジメント	4	エステティック業の役割、サロン運営 サロン繁栄のための顧客管理、サロンマネジメント、期待できるエステティック産業
電気学・機器学	6	エステティック機器、電気学、生体と電気の関係
関連法規	6	エステティシャンの仕事と法律、契約に関する法規、エステティック業界の自主基準
サロンでの救急法 衛生・消毒	11	救急法の基礎知識、主な症状の手当てと病気、主な事故の手当て 公衆衛生 病原微生物 感染症、消毒・滅菌
美容脱毛学	5	美容脱毛学概論、毛髪学概論、毛の成長因子と美容脱毛、病気の基本 美容脱毛における衛生管理、美容脱毛のカウンセリング
検定対策①	25	・これまでの復習 ・筆記試験例題集
検定対策②	73	例題集実施、解答・解説 模擬試験
店販化粧品	4	美白、アンチエイジング、にきび、毛穴、痩身、リラクゼーション、目的別化粧品の理解
肌別目的別スキンケア	2	肌別、目的、季節のトラブルとお手入れ解説、理解

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(アロマ理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	34	34

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	アロマセラピーはエステにおいて身体をリラックスさせ、美と健康を増進しそれを身体・精神両面からアプローチできる自然療法です。エステティックにおいても現在、その効果から重要なものであり多く取り入れられていることから、その理論・知識を当該授業で学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	アロマ実技の実技授業との連動も図りながら、アロマセラピーに関する基礎的な知識・理論を実践で活かせるレベルにまで到達させることを目標とする。 また、検定合格レベルの知識の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
検定内容 アロマセラピーの基本	1	アロマセラピー1級検定の内容、アロマセラピーの基本
精油の基本	2	精油の作用、抽出法、選び方、精油と環境の関係
アロマセラピーの安全性 実践	2	安全に使用するための心得 アロマセラピーの機材、用具
アロマセラピー実践 メカニズム	2	アロマセラピーの利用法 心身に伝わる仕組み、経路
ビューティ&ヘルスケア	2	睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケア
歴史	2	古代～現代
法律	2	アロマ商品の販売や施術、その他にかかわる法律
精油のプロフィール	2	プロフィールプリントの記入(科名、抽出部位、種類、語呂合わせ)
検定対策	19	練習問題、模擬試験、復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(接客販売心理学)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	34	0	34

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	接客心理検定3級・準2級取得に向け、顧客心理を知り、卒業後にすぐに役に立つ販売知識を学ぶ
授業の到達目標	接客心理検定取得

具体的内容		
項目	時間数	内容
オリエンテーション	1	授業の意義目的、授業を受けるにあたっての約束
接客心理とは	1	講師による接客デモンストレーション、接客心理の内容説明、接客心理検定について
ロールプレイング	1	ボディランゲージ、挨拶・笑顔・言葉使い等の説明
コミュニケーション テクニック	6	お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析 グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析、グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) 実例からの心理状況分析、グループワーク
情報とコミュニケーション の区分	4	メール、SNS等の非対面コミュニケーションと対面コミュニケーションの情報伝達量、伝達度の違いの理解 接客が最高級スキルであることの証し、満足度と感動を与えることの理解 談話能力・社会言語能力の理解度、コミュニケーションを戦略的に使う接客方法 グループワーク(ロジカルな文章、イメージ文章、グローバル文章とパーソナル文章の作成)
筆記	2	知識の確認
商品属性の研修	6	商品属性の必要性・商品属性名と属性値、トレンド便乗の手法の理解 グループワーク(トレンド商品、属性値、イメージ分析) グループ発表 属性値が創造されるメカニズム、クレームに含まれる属性値と商品改善 お客様の認知とバイアス(歪み)の理解 グループワーク (売れ筋のイメージの絞り込み、類似商品の属性値、新しい属性値創造キャッチコピー作成) 誤解、錯覚、思い込み、バーナム効果
練習問題	1	練習問題を解く(知識の確認)
ブランドを立ち上げる	1	グループワーク(コラージュ作成・修正)
トータル	11	実技試験シュミレーション、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(フェイシャル)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	165	192	357

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	フェイシャルエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なフェイシャルエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用する方法的理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
・ポイントクレンジング ・クレンジング ・スポンジ ・ホットタオル	18	・クレンジングの手技の理解、クレンジングの手技を覚える
・ポイントクレンジング ・クレンジング ・フェイシャルトリートメント ・拭き取り ・整肌	20	・6種類の基本手技の理解と手順 軽擦法、強擦法、揉捏法、打法、圧迫、振動法、デコルテ ・クレンジングの復習
フェイシャルトリートメント パック	9	・パックの理解と手順、 パック素材の説明、パック塗布の注意点・手順・デモ・レッスン・仕上がりチェック パックの拭き取り注意点・手順・デモ・レッスン・拭き取りチェック
復習①	22	・これまでの手順の復習、確認テスト
検定対策①	12	・本番対策、問題点改善、タイム取り、模擬試験
カウンセリング機器	3	・カウンセリング機器の見方、使用方法
スチーマー 洗顔・吸引・パック	21	・スチーマー、洗顔、アルカリ水を使用し吸引の手順を理解、覚える ・スチーマー、洗顔、パックの手技を覚える クレイパック、酵素パック、バランシングパック、リバイタルパック
復習②	32	・これまでの手順の復習、チェック
小顔トリートメント クールパック	28	・小顔トリートメント、クールパックの効果、手技、手順 ・トータル技術の流れを覚える
検定対策②	68	・検定に合わせた細かい手技の確認、カウンセリング、口頭試問レッスン ・フェイシャルの検定の流れ、模擬試験
イオン導入	11	・安全に機械を取り扱う為の理解、イオン導入の手技の理解と手順
イオン導入・クールパック 小顔トリートメント・整肌	16	・手技確認、徹底、復習
ラジオ波	15	・ラジオ波の効果、注意事項、手技の理解と手順
サロンレベルレッスン	26	・これまでの技術をサロンレベルに向けてレッスン
フリマツール	7	・フェイシャルのフリマツール～トリートメントの手技の理解と手順
卒業テスト対策	49	・卒業テスト説明、モデルに適したプランニングと技術、テスト対策

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(ボディ)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	176	191	367

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ボディに対するエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なボディエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用方法の理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内 容
教材確認	4	・教材チェック・名前記入、エステ着・ナースシューズ試着
基礎	3	・エステの仕事 ・ベッド、ワゴンセッティング ・タオルの畳み方、ホットタオルの作り方
下肢後面トリートメント	20	・手技の理解と手順、注意点 ドレーピング、手技チェック、ホットタオル拭き取り
腰背部・肩・上腕トリートメント	13	・手技の理解と手順、注意点 ドレーピング、手技チェック、ホットタオル拭き取り
下肢前面トリートメント	6	・手技の理解と手順、注意点 ドレーピング、手技チェック、ホットタオル拭き取り
上肢・腹部トリートメント	12	・手技の理解と手順、注意点 ドレーピング、手技チェック、ホットタオル拭き取り
全身トリートメント カウンセリング	32	・手順の復習(下肢後面→腰背部・肩→下肢前面→上腕→腹部のトリートメント) ・カウンセリングシートの記入、検定の流れ
検定対策・模擬試験①	12	・模擬試験(本番同様の流れで実施)
リフレクソロジー	11	・効果の理解、禁忌事項説明、手技の理解と手順 ・トリートメントの注意点・デモレッスン・チェック
G5	27	・効果と注意事項・技術確認、G5の注意点・デモ・レッスン・チェック
痩身トリートメント	36	・下肢後面両足、背中、下肢後面、背面、下肢全面、上肢、腹部、全身の手技理解と手順
検定対策・模擬試験②	68	・検定についての説明 ・対策(全身トリートメント、カウンセリング、口頭試問)、確認テスト、模擬試験
個人カルテ作成	2	・個人カルテ、効果写真の作成・体組成計、採寸について
採寸・痩身トリートメント	4	・採寸、痩身の手順復習
ラジオ波	20	・効果と注意事項、手技の理解と手順
低周波・ヒートマット	15	・効果と注意事項、全身の筋肉の理解とパッティング、手技の理解と手順
サロンレベル	14	・サロンレベルに向けてレッスン(痩身トリートメント、G5、ラジオ波)
肩トリートメント	7	・肩周辺のトリートメントの効果の説明、手技の理解と手順
学期末試験対策	6	・サロンレベルに向けてレッスン 採寸、ビフォーアフターカウンセリング、全身痩身トリートメント手技徹底チェック
バストヒップアップ	10	・マッサージの効果と手技手順の理解
ブライダルコース	11	・ブライダルコースの目的理解、コース例 ・フリマール、トリートメント、バックの手技
卒業テスト対策	34	・モデルに適したプランニングと技術の実施、試験対策

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(アロマ実技)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	54	0	54

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	アロマセラピーはエステにおいて身体をリラックスさせ、美と健康を増進しそれを身体・精神両面からアプローチできる自然療法です。エステティックにおいても現在、その効果から重要なものであり多く取り入れられていることから、知識との連動性をもたせながら当該授業でアロマセラピー技術学ぶ。
授業の到達目標	アロマセラピーに関する香りの効果効能の理解とリラクゼーションを与える技術を実践で活かせるレベルにまで到達させることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ボディアロマトリートメント	32	・アロマトリートメントの効果・技術理解、手技のレッスン、手順 ・確認テスト
フェイシャルアロマトリートメント	22	・フェイシャルアロマトリートメントの効果・技術理解、手技のレッスン、手順 ・確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(脱毛)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	6	9	15

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	エステティックにおける脱毛技術、知識を脱毛学から手技の技術習得、機器の正しい使用方法等の授業内容から学ぶ。
授業の到達目標	エステティックにおいて重要な、脱毛の知識の理解、ワックス脱毛・光脱毛技術の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
脱毛理論	1	・脱毛理論の理解
脱毛実技	14	・脱毛機の使用(禁忌事項、機械使用方法、施術～沈静一連の流れ注意点・デモ) ・手技の理解と手順(施術～沈静一連の流れレッスン・チェック) ・確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(ヘッドマッサージ)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	15	0	15

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
エステティシャン	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、エステサロン等にて、エステティシャンとしてエステティックに関する実務経験が3年以上あるものが、当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	エステティックにおけるヘッドトリートメント(マッサージ)効果効能の知識を実技の中で習得できる授業を行う。ヘッドトリートメントの手技や手順、頭皮に存在するツボの位置を実技の中から理論的にも技術的にも理解させる。
授業の到達目標	エステティックにおけるヘッドトリートメント(マッサージ)の効果効能とリラクゼーションを与える技術を理解し、現場でも活用できる技術にまで向上させることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ヘッドトリートメント	5	・ヘッドトリートメントの効果(効果、禁忌事項、理論) ・手技の理解と手順(ツボ効果の確認・ツボの位置・効果の確認・ヘッドトリートメント)
ヘッドトリートメント～デコルテ	10	・手技の理解と手順 ・確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	エステ(カウンセリング)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	25	12	37

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	エステ技術だけでなく、お客様が何を求められているかをヒアリングする力を養う。
授業の到達目標	カウンセリング知識の習得

具体的内容		
項目	時間	内容
ボディフェイシャル カウンセリング	27	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングの目的、基本理解、カウンセリングシート内容 ・カウンセリングの注意点、手順 ・カウンセリングシートの内容説明、記入、解説 ・身体の状態確認の方法 ・肌質・体質判断、アドバイス ・カウンセリング力の向上 ・相モデル、タイム取り
カウンセリング	10	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問の目的、基本の理解、口頭試問の理解 ・カウンセリングシートを用いて口頭試問の実践

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	74	3	77

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	希望する就職先に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
業界について	1	・美容業界の仕事・職種について、体験談
就職活動の流れ	1	・就職活動のスケジュール
インターンシップ・アルバイト	1	・参加の意義、準備
キャリアプランニング①	2	・キャリアプランニングとは、キャリアプランニングシート
自己分析	2	・自己分析とは、シート作成、人前で話す練習
企業研究①	2	・企業研究とは、志望動機とは
インターンシップ	1	・エントリーシートの書き方
情報収集	1	・SNSと就職活動
就活サイト	2	・説明、登録
応募書類①	1	・必要書類、履歴書の書き方
面接試験①筆記試験①	2	・面接試験、筆記試験を知る、SPI対策
キャリアプランニング②	1	・キャリアプランニングシート作成
求人の見方	3	・情報収集の仕方、用語
企業研究②	2	・業界企業の特徴、志望動機作成等
応募書類②	14	・添え状、封筒、履歴書
面接対策①	18	・集団面接、模擬面接
証明写真	2	・証明写真について
キャリアプランニング③	1	・キャリアプランニングシート作成
面接対策②	11	・集団面接、模擬面接、弱点強化
応募書類③	6	・履歴書作成
フォローアップ	2	・内定先企業調査
卒業前教育	1	・社会人としての意識

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	実践(特別授業)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	5	4	9

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	SNSブランディング・OBOGセミナー・校内ガイダンス
授業の到達目標	SNSの正しい使い方の理解・業界で活躍する卒業生の話聞き、美容業界で働くことのイメージ・企業説明会、就職活動のイメージができるようになる。

具体的内容		
項目	時間数	内容
SNSブランディング	2	SNSの効果的な使い方、正しい使い方
OBOGセミナー	4	業界で活躍する卒業生
校内ガイダンス	3	興味のあるサロンの方々のお話を聞く

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	実践(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	2	292	294

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	自コースのサロン実習の授業を行う。 必修科目で学ぶエステ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン説明	4	サロン実習内容説明
サロン基礎	8	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン概要説明 ・オープンからクローズまでの1日の流れの理解 ・身だしなみ、挨拶、接客用語、立ち居振る舞い ・売上目標、入客目標、店販売上の理解 ・受付表、伝票などの書類の書き方 ・レジの使用法 ・カウンセリングシート、メニュー内容、時間、金額の理解 ・お出迎え、お見送りの仕方・電話の出方(ロールプレイングの実施) ・PC入力方法
カウンセリング基礎	10	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の状況に合わせた提案の仕方・理論に基づいた提案の仕方 ・効果的な来店ペースの促し方 ・効果的なホームケアアドバイス ・ロールプレイング ～来店→技術→退店～ ・ロールプレイング ～商品販売の仕方～
サロンシミュレーション	6	<ul style="list-style-type: none"> ・売上目標、入客目標、店販うりあげの把握・受付表、伝票 ・復習
実習確認	2	<ul style="list-style-type: none"> ・起こりうる事態の予想と対策 ・仕事内容の理解、役割
カウンセリング応用	6	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様のニーズ別の販売の仕方 ・ビフォーアフターカウンセリング ・ロールプレイング
サロン技術強化	6	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の不安点、弱点強化
接客応用	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各自問題を解く ・グループで自身の回答の発表をし合いグループで1つの回答を作る ・クレーム対応マニュアル解説
交流授業	6	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン実習シミュレーション
接客テスト	12	<ul style="list-style-type: none"> ・接客テスト
サロン実習	172	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
プレサロン	14	<ul style="list-style-type: none"> ・友人や他学年をお客様としサロン実習の実施
プレサロン改善会議	4	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定
復習	12	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン復習
サロン改善会議	28	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	コース選択メイク(メイク理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	30	12	42

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	化粧品についての知識、皮膚の構造、メイクアップデザインやスキンケア理論の授業を実技授業との連動性を持たせより実践的に行う。 技術力の向上、就職後の接客技術、カウンセリング技術にも応用できる授業を行う。
授業の到達目標	メイク技術及び接客技術の実践で活かせる、化粧品・メイク理論・皮膚、骨格・色に関する正確な知識及びメイクアップデザイン理論を学び習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ベーシックセオリー スキンケアコンセプト 皮膚知識 スキンケアテクニック	2	化粧品の定義、スキンケアの必要性、化粧品の名称、用途、特徴と取り扱いの理解 3ステップによるスキンケアシステム 皮膚の構造と働き スキンケアテクニックの役割、順序、実技用具ポイント
ポイントクレンジング	2	リップクレンジング アイメイククレンジング
ベースクレンジング	2	オイル塗布、オイルの乳化、拭き取り
トナー	2	ローショントナー、クリームトナー
アンダーベース	2	アンダーベースの手技、手順、注意点
ファンデーション、コン シーラー、パウダー	2	ファンデーション、コンシーラー、パウダーの手技、手順、注意点
ハイライト・ローライト	2	ノーズシャドー、アイシャドー、ハイライトの手技、手順、注意点
ポイントメイクアップ	4	リップ、アイシャドー、アイライン、アイラッシュ、アイブロー、チーク、ハードフォーミュラの削り方
メイクアップカラー	2	色の三属性、トーン、配色、カラーカウンセリング
検定対策	10	検定筆記対策
メイクアップデザイン	12	デザインシート記入の注意点、言葉の表現、色の付け方 デザインシート作成(キュート・フレッシュ・クール・エレガント)

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択メイク(メイク技術)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	132	86	218

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイクに関する一連の技術(スキンケア、クレンジング、メイクアップ)を学ぶ。一般的な基礎技術はもちろんのこと、イメージ別のメイク技術、舞台メイク等を学ぶ機会を与え、メイクに対する興味を深めそのことにより技術の幅を広げる授業を実施する。 検定の検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	スキンケア、クレンジング、ベース～ポイントメイクの習得や、お客様一人一人にあったメイク、それぞれのシーンにあったメイクの提案をしそれを具現化できるところまで完結できる、より実践的な技術レベルへの到達を目標とする。 また、検定の取得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
技術者としての身だしなみ	1	・技術者としての心得を理解、意識付け、姿勢、身だしなみについて
セッティング	6	・セッティング説明、実践 ・相モデルセッティング、姿勢、身だしなみ
スキンケアテクニック	31	・リップクレンジング、アイメイククレンジング、ベースクレンジング オイル乳化、ベースクレンジング、乳化、拭き取り ローショントナーニングテクニック、クリームトナーニング、ティッシュオフテクニック
メイクアップテクニック	52	・道具の持ち方、手順、テクニックレッスン アンダーベース、ファンデーション、フェイスパウダー、ノーズシャドー アイシャドー、ハイライト、ポイントクレンジング、リップブラシ アイラインペンシル、アイラッシュカーラー、アイブロー、チークメイクアップ ・クレンジング～スキンケア、ベースメイク～フルメイク
リタッチ	3	・リタッチテクニック
カラーカウンセリング	39	・モデルの肌色からカラーベースを判断しカラーを決定 ・手順、テクニックレッスン、相モデル
検定内容①	53	・「キュート」「フレッシュ」「クール」「エレガント」手技、テクニック、フルメイクレッスン
トレンド①	5	・現在のトレンドの特徴、相モデルレッスン
舞台メイク(キャッツ)	28	・特徴説明、デモンストレーション、相モデルレッスン

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択メイク(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	40	40

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択メイクのサロン実習の授業を行う。コース選択メイクで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	24	・サロン基礎、カウンセリング基礎、技術強化、シミュレーション、応用
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ネイル理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	16	6	22

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なネイルの知識(歴史、爪の構造、手のマッサージ、色彩理論、ネイル技術)、使用する用具用材、機器の正しい使い方を学ぶ。 また、資格取得の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関する基礎的な知識、ジェルネイルの基礎知識、使用機器の正しい使い方等について理解することを目標とする。 資格試験に合格するレベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ネイル理論	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルの歴史・爪の構造と働き ・皮膚・生理解剖 ・マッサージ理論・ツボ理解 ・病気・消毒 ・化粧品学・色彩理論 ・技術体系・ケア手順 ・復習(確認テスト)
ジェル	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル概論、用具用材、技術体系、ジェルネイルの衛生管理 ・ジェルネイル材料の基礎理論 ・ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止 ・復習、確認テスト
検定対策	6	<ul style="list-style-type: none"> ・復習、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ケアカラー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	112	0	112

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして基本的な技術であるケアカラーについて学ぶ。用具の種類や使用方法、消毒法から爪の形を作るファイリング、爪のケア技術、ポリッシュの塗布技術を相モデル等にて実践的に学ぶことができる。検定の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関するケアについての技術の習得と理論の理解、ポリッシュ塗布技術習得と理解、検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
セッティング・検定概要	6	<ul style="list-style-type: none"> ・セッティング(ラベルシール・名前シール) ・道具確認 ・検定概要(手順)
ファイリング	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドの仕込み方 ・ファイリング・シャイナー(爪の形と種類、ファイルの違い、手指消毒、ラウンドのストローク) ・爪の形の削り方(オーバル・ポイント)
ハンドトリートメント	1	・ハンドトリートメント手順 ツボ理解
プッシャー	5	<ul style="list-style-type: none"> ・使用方法、持ち方、支え方、動かしか方 ・手指消毒～ファイリング～プッシャーの流れ
ニッパー	15	<ul style="list-style-type: none"> ・使用方法、持ち方、支え方、ガーゼの巻き方、動かしか方 ・手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ実践
赤ポリッシュ	18	<ul style="list-style-type: none"> ・使用方法、持ち方、刷毛の状態、塗る手順 ・指の支え方、スキндаウン、修正、オフ、モデルレッスン ・確認テスト、弱点教化
アート	7	・使用方法、筆の動かしか方、モデルレッスン
ケアカラートータル復習 検定対策	50	<ul style="list-style-type: none"> ・ケア復習(手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ) ・フィードバック、弱点強化 ・筆記・過去問題、模擬試験 ・相モデル、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ジェル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	34	92	126

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なジェルネイルの技術・理論について学ぶ。ジェルネイル技能検定の初級の対策も行い、用具用材・機器の使用方法から基礎知識技術から学び、モデルに応じたバランスまで考えられるような技術者になれるよう授業を行う。
授業の到達目標	ジェルアートの基礎知識の理解・スムーズな除去方法の理解と技術・色々な筆の使い分け・モデルに応じたバランスがとれる技術の習得を目標とする。 資格試験合格レベルに到達することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ジェル初級検定	34	<ul style="list-style-type: none"> ・セッティング(ラベルシール) ・道具(破損・過剰確認、種類・用途・維持方法・注意点・使用方法) ・検定概要(手順) ・赤ジェル、ジェルアート、トータルレッスン ・本番シミュレーション、確認テスト
カラーリング	5	・ジェルカラーリング、ジェルトレンドアート
グラデーション	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルグラデーション、トップジェルまで通し ・確認テスト
フレンチ	26	<ul style="list-style-type: none"> ・バランス・ライン取り、トップジェルまで通し、弱点教化 ・確認テスト ・フォームのかけ方(種類、切り方、角度、相モデル)
スカルプチュア	21	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーエッジ(クリアファイル、ハンド、自爪) ・削り・仕上げ ・弱点強化、確認テスト
ジェル中級検定	28	<ul style="list-style-type: none"> ・手順確認、タイムトライアル、弱点教化 ・本番シミュレーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	合計
	0	40	40

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択ネイルのサロン実習の授業を行う。コース選択ネイルで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	24	・サロン基礎、カウンセリング基礎、技術強化、シミュレーション、応用
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	HR	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	合計
	240	230	470

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒間のコミュニケーション向上。 ・コンプライアンスや一般常識、社会の危険知識を身に付ける。 ・イベントを通して美容の面白さや、多くの人との関わり合い・協調性を身に付ける。
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学生生活での一般常識や守らなければならないこと、チームで力を合わせ取り組む姿勢、社会に出てからの一般常識や危険性の知識習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
リーダー任命式・セミナー	12	・生徒間コミュニケーション向上、学校ルール
ベルコレ	24	・作品の製作、技術訓練、発表
防災対策	18	・消防署からのアドバイス、訓練、災害種別による避難
防犯対策	22	・犯罪被害予防、不審者、不審物、ストーカー被害
薬物乱用	12	・薬物の危険及び影響、薬物や有機溶剤及び医薬品の乱用
社会貢献	43	・地域活動、地域行事参加
マナー	16	・言葉遣い、服装、電話対応、来客対応
仕事・組織	12	・チームでの仕事、仕事の進め方
職場生活	12	・整理整頓、勤務態度行動
社内外トラブル	12	・起こりうるトラブル
個別弱点強化	216	・個々の苦手科目強化及び指導
進路相談	22	・希望就職先、職種類
特別講習	20	・卒業生やサロン 企業従事者による講義
ハラスメント	18	・セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、具体例、防止、復習
コミュニケーション	11	・社会人・組織のコミュニケーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	合計
	60	10	70

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	サービス接客検定合格。 卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
サービススタッフの資質	4	サービススタッフに求められる資質
専門知識	4	サービスの現場における行動
一般知識	3	サービス業で使うことわざ・慣用語、季節行事と食べ物・カタカナ用語
対人技能	4	接客用語、敬語の記述問題
実務技能	4	掲示物の書き方・イラスト問題、クレーム対応、社交業務
理論編復習	3	理論編確認テスト実施、解説と解答
実技編復習	3	実技編確認テスト実施、解説と解答
直前対策	4	模擬テスト、解説と解答
面接対策	5	面接の審査基準とポイント、面接の流れ、部分動作の練習 面接シミュレーション
主体性 I	3	定義(物事に進んで取り組む力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
主体性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
実行力 I	3	定義(目的を設定し確実に行動する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
実行力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
柔軟性 I	3	定義(意見の違いや立場の違いを理解する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
柔軟性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
課題発見力 I	3	定義(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
課題発見力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
ストレスコントロール力 I	3	定義(ストレスの発生源に対処する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
ストレスコントロール力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
創造力 I	3	定義(新しい価値を生み出す力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
創造力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

